

第47回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日時 平成18年7月21日(金)13:30~21:00  
場所 尼崎市立女性・勤労婦人センター 視聴覚室  
出席者 (委員)松本(誠)、奥西、畑、岡田、加藤、佐々木、中川、  
浅見、茂木立、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷、山仲  
(河川管理者)田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田  
(河川整備課)寒川  
(事務局)林、長尾、植田、木本

内容(協議結果)

1 総合治水対策の検討

- (1) H18.7.16~7.19 雨量及び水位速報値について  
「H18.7.16~7.19 雨量及び水位速報値」について、河川管理者より説明があった。
- (2) 掘込河道区間における河道改修の検討  
「リバーサイド地区の河道計画の比較」について、河川管理者より説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。  
河川管理者提案の4つの案それぞれの課題から、植物(特定種)の生育に配慮し、洪水の流速を落とさないため、低水路を極力保全しながら右岸側へ引堤する案も、委員会から提案する。
- (3) 引堤等の検討  
「築堤区間における引堤の課題」等について河川管理者より説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。  
阪急橋梁の改築の目的、事業が全体計画に位置づけられていたものかどうか等について、河川管理者は説明を行う。  
阪神電鉄橋梁の改築については、整備計画期間中に都市と連携した川づくりとして進めるモデル的な箇所として取り組むよう、委員会から提案する。
- (4) 土砂対策の検討  
「平成16年台風23号による土砂堆積等の状況」等について、河川管理者より説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。  
環境に関連した土砂対策及び横断工作物の課題については、環境ワーキンググループでの議論を踏まえて、総合治水ワーキングチーム会議で改めて協議する。  
治水対策としての横断工作物をどのように考えるかについて、提言に向けた成文化を行う。
- (5) 治水対策における環境配慮の検討  
「武庫川河道改修による環境保全の方針等について」等について、河川管理者より説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。  
治水対策における環境配慮のためのポイントと課題について、提言に向けた成文化を行う。
- (6) 粗度係数について  
「第46回流域委員会傍聴者意見(粗度係数関係)」について協議した結果、次回流域委員会(7月26日開催予定)での治水に関する委員会の「意思決定」を行う上では影響がないものと判断し、県が改めて作成した資料の取り扱いについては運営委員会で協議する。
- (7) 治水に関する委員会の意思決定について  
「第47回流域委員会2006/7/26の意思決定案」について協議した結果、原案を一部

修正するとともに、下記のことを確認した。

委員会の「圧倒的多数」の意見が大切であり、意思決定案について異議がある委員は次回流域委員会で意見を述べる。

流域関係7市の意見は委員会の提言の中に何らかの格好で盛り込むが、ヒアリング席上で表明された各市の意見は今回の意思決定を行ううえで上記の案を見直す決定的な要素とはならない。

基本方針の同意を国に申請する際に添付する参考資料で、洪水調節施設のそれぞれの分担量を明記する必要があるかどうかについて、河川管理者は国に確認し、報告する。

(8) 超過洪水対策の検討

超過洪水対策の取り扱いについては、次回WT会議で検討する。

2 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

総合治水対策

(2) 今後の日程（開催日時）

第48回 7月28日（金）15:00～

第49回 8月4日（金）13:30～

当日配付資料

- 資料1 第47回流域委員会 2006/7/26の意思決定案
- 資料2 武庫川河道改修による環境保全の方針等について（一部修正）
- 資料3 リバーサイド地区の河道計画の比較
- 資料4 武庫川下流工区における堤防高さの状況
- 資料5 築堤区間における引堤の課題
- 資料6-1 平成16年台風23号による土砂堆積等の状況（一部修正）
- 資料6-2 平成16年台風23号後の土砂掘削位置図（一部修正）
- 資料7 第46回流域委員会傍聴者意見について（修正）
- 資料8 千苅ダムの検討（一部修正）
- 資料9 まちづくりからみた武庫川づくり「5つの戦略」「22のアクションプラン」(案)  
一部抜粋
- 資料10 意見書：河道の粗度係数について（奥西委員）

参考資料

- 1 H18.7.16～7.19 雨量及び水位速報値